

新宮山彦ぐるーぷ第2031回
釈迦ヶ岳山頂の釈迦如来立像基部修復時の雨除けシート撤収など

◇実施日；2019年06月29日(土) 曇り
 ◇参加者；梶野照雄、山川治雄 2名。

25日に釈迦ヶ岳山頂の釈迦如来立像基部の石積み上げ工事が終了し、雨除けに被せてあったブルーシートの撤収に行った。
 天気予報で28日と29日は降水確率が低かったが、28日は明け方まで雨が降るようなので29日の実施とした。
 28日の夕方、山川さんから電話があり、先日の帰り道で話していた松の斜木を切りに来るという。午前9時に待ち合わせを伝える。



登山口はガスの中



山川さん到着



斜木現場着

8時40分、登山口に到着、雨は降っていないがガスがかかり見通しは無い。悪天候でも7台の車が駐車していた。
 8時50分、山川さんが到着、支度をして登り始める。10分少々で斜木現場に到着。

山川さんは大小2台のチェーンソーを持ってこられたので安心だ。斜木の切断はトラブルもなく順調に進み、15分ほどで作業が完了した。山川さんは新宮で仕入れがあるとのこと、ここから下山。私一人で釈迦ヶ岳山頂を目指す。



斜木切除作業

気温はさほど高くは無いが、湿度が非常に高くじっとしていても肌がべたついてくる。
 古田の森くらいから西風が強くなり、山頂では風速5〜6m/s位。取り外したシートが飛んでいかないか心配な位だった。
 山頂には先日登山口に残してきた砂とガラス5袋(26日、細川氏荷揚げ)が置かれていた。5袋を南側の下がった位置に移し、砂置き場の看板を撤去する。
 シートを止めているロープを外して一枚ずつ東側の地面に置いて広げると風にあおられてバタつくので、飛ばないように石を置く。

畳むのに時間がかかった。3枚のシートを畳み終えて、石積の最上部の縁に「のぼるな！感」を出すために石を並べた。コンクリートは完全に乾いていて、石同士もよく引っ付いているようだ。表面の仕上げが雑なのは素人工事の愛嬌としよう。

飛ばないように石を置く



縁に石を並べる



荷造り完了



山頂に到着



荷揚げの砂とバラス5袋



ブルーシートを外す



秋には無かった倒木



笹刈りの後が新しい



都津門、碑伝が見える



山頂には約40分滞在、背負子を担いで深仙宿へ下る。昨夜の雨で岩や木の根が濡れていてよく滑る。2012年10月25日、ここを下る最中、笹で隠れた段差を踏み外して右足太ももの肉離れを起こした。笹は青木さんが刈ってくれたので、足元はよく見えるようになっていたが、あの時の痛さや5時間掛かって登山口にたどり着いた経験は忘れることがないと思う。

深仙宿までの奥駈道は昨年の10月に倒木の切除をしたが、それ以後に倒れたと思われる木が二本あった。いずれも枯れてから相当経った木だったので、直立した枯れ木も予防措置として切り倒す方が良いのか、とも思う。

45分で深仙宿に着き小屋で昼食。一部点灯しなくなったLED照明を交換しようとしたが、取付け部がアルミ板だったことを忘れていて、穴あけに必要なドリルやタッピングビスを持ってこなかったので取付けをあきらめ、持ってきた3個のLED照明をバッテリー横にデポする。

午後1時40分、深仙宿を離れて登山口へ向かう。ゆっくりのペースで2時半に千丈平、3時15分古田の森と休憩しながら午

後4時25分に登山口に戻った。



四天石と灌頂堂



この木も切除予定



無事下山！

午後7時40分、家に着いたと同時に山川さんから電話があり「帰り道、発電所付近でパンクし、タイヤ交換しようとしたがレンチが合わずにタイヤが外せず。山頂までなら午後2時半ごろには下山するだろうと待っていた。電話もしたが通じず。途方に暮れていると、午後4時過ぎに発電所職員が工具を貸してくれて、どうにか帰宅した」とのことだった。

深仙宿へ行くことは伝えていなかった。途中、通話圏外の時に留守番電話の着信メールが2件あったが、どちらも公衆電話からの発信だったので、折り返しの発信もできなかった。

当日の行動予定の確認も重要だが、通信手段が公衆電話しかないところでは、新宮の誰かに連絡して、そこからメールを送るという手もある。ショートメールは通信圏内に入ると着信を知らせてくれるので、見落とすことはまず無い。気が付いた場所は通信圏内であり、即座に連絡が取れると思う。

山川さんには一日を無駄に過ごさせてしまい、申し訳ありませんでした。

行動タイム

登山口 08:55 → 09:07 斜木切除現場 09:22 → 09:43 不動木屋登山道
分岐 ↓ 10:23 古田の森 ↓ 11:02 千丈平 ↓ 11:28 釈迦ヶ岳山頂 12:18
↓ 13:03 深仙宿 13:40 → 14:31 千丈平 → 15:05 古田の森 ↓ 16:25 登山口。
(記：梶野)